

事業の基礎情報

事業実施地域	新潟県
人材育成の対象	自治体担当者
人材育成の手法	モデル分析演習および、県内自治体担当者ワークショップ
人材育成の内容	モデル地域でのマイカー交通等の実態分析・活用検討、県内各市町への共有化と活用方法の検討
想定育成人数	20～30名程度

取組の概要

(現状の地域課題と事業目的)

- 各自治体における地域の計画づくりやマネジメントにおいて、移動の多くを占めるマイカー交通の実態を踏まえた検討が軽視されがちな現状。
 - 各地域ごとにデータ等を活用しながら現状を把握し、公共交通の最適化を図ることで持続可能なサービスを維持していくことが求められているが、各地域内でデータを活用しながら分析・プランニングできる人材が育っておらず、育成機会等も少ない状況。
- モデルとなり得る地域でデータ活用を通したプランニングイメージを具体化するとともに、新潟県内全体で共有・共創することで地域交通マネジメントの活性化を図る

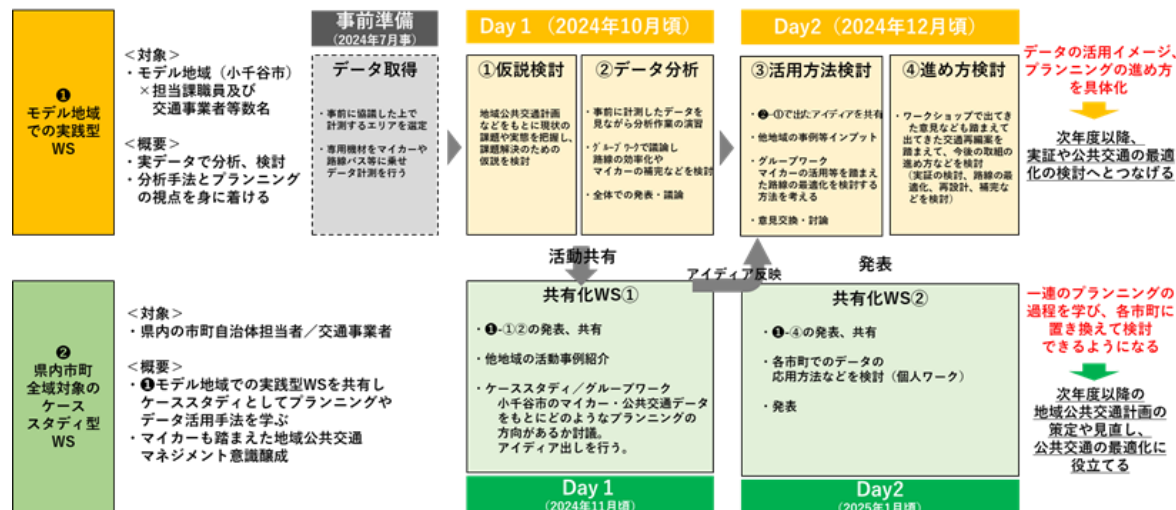
(事業の概要)

●モデル地域（小千谷市・十日町市）を対象として
実データを活用した実践型ワークショップを開催

- ①対象者：モデル地域 自治体担当者・交通事業者
- ②形式：ワークショップ形式×2回
- ③内容：マイカー・公共交通データの取得・分析、プランニングなどを行う。
- ④習得させるもの：データ取得の方法から具体的なアクションにつながる実践的なプランニングスキルの習得

●県内市町全域対象のケーススタディ型ワークショップ

- ①対象者：新潟県内の自治体担当者、交通事業者
- ②形式：ワークショップ形式×2回
- ③内容：モデル地域のデータ取得やプランニングの取り組みの共有、ケーススタディとしたアイデアワークショップなどを行う。
- ④習得させるもの：モデル地域の一連のプランニングに触れることで間接的にプランニングのノウハウを習得し、今後各自治体で公共交通の最適化へ活かす。



取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

<モデルづくり>

- ・ワークショップを通じて、具体的な分析・議論を進め、実態に即したマイカー交通を含めた公共交通最適化モデルを可視化

<自治体担当者>

- ・参加地域での交通課題等の実態の把握やプランニング視点を身に着けられることができ、データに則した実証や今後の地域公共交通計画策定時等に役立てることができる。
- ・ワークショップの参加者同士での連携等今後自治体間連携の広がりが期待できる。
- ・一連のグループワークを通して参加者同士で新しいアイデアが生まれることを経験していただき、今後のアイデアを発想に活かすことでよりよい共創型でのアイデア創出の型を学ぶことができる。

<県におけるマネジメント>

- ・新潟県としても参加自治体の取組を通して、マイカーを含めた交通資源の活用可能性や課題を整理し、県内の取組に広げることができる。

（事業実施手順・スケジュール）

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
準備	交付申請									
① モデル地域 実践WS		準備	取得	整理						
		企画		準備	WS①②			WS③④		
② 県内市町 ケース スタディWS			企画	準備	WS①			WS②		
まとめ										まとめ

（補助事業実施後の予定）

- ・ワークショップを通してマイカーデータ等を活かしたプランニング～アウトプットの事例を参考にモデル地域での実証の検討を行う。
- ・支援結果から、官・学・民連携による効果的・持続的な支援の形を検討し、モデル地域でのより実践的な伴走、ワークショップ参加自治体のプランニングや取組の支援・サポートに繋げる。
- ・また、マネジメントの観点を、新潟県の交通資源活用の議論に活用できるよう提言していく。